

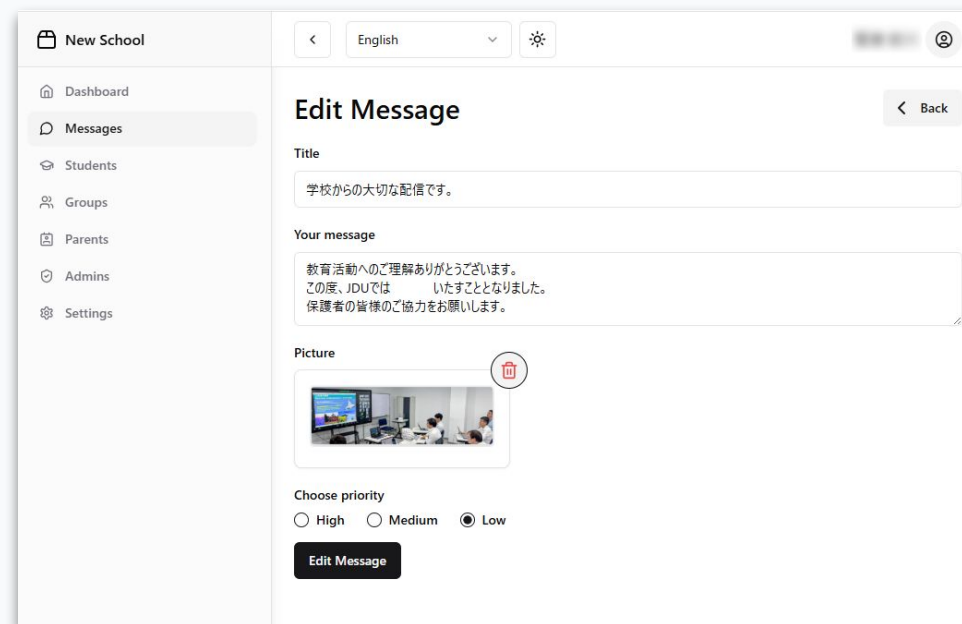
# Webアプリ, スマホアプリ, SNSポット 保護者連絡強化アプリ

大学の保護者への連絡を重要度や閲覧状況などに応じて、専用アプリ、 SNS、SMSに通知可能。保護者への確実な認知と大学側の従来の運用負荷やストレスを解消するアプリ。現地ロシア語圏に強いメッセンジャー SNSであるTelegramとの連携や、SMSを利用したログインなどの機能も実装。

新規構築, 言語:TypeScript / フレームワーク:ReactNative / データベース:MySQL / その他:Node.js, Express.js, AWS Lambda, AWS Cognito, プッシュ配信, Telegram, SMS認証

費用(開発のみ): 1,056,000円

学生稼働: 2名 計110人日



保護者アプリ画面: スマホに不慣れな保護者でも使い  
やすい。4言語対応。SMS認証ログイン対応。

管理(配信)者側 Webアプリ画面: Reactによる軽快なインターフェース。簡単に保護者へメッセージを  
配信。保護者の既読 / 未読も追跡管理や、重要度に応じて SMSによる通知も可能。

## アピールポイント

シンプルながらも、丁寧に作り込まれたユーザインターフェースで簡単操作。 Telegramなどの日本では馴染みの少ないメッセンジャー SNSと連携。

## 担当学生からのコメント

フロントエンドからAWS上のデータベース構築まで、幅広い領域を担当しました。SMS送信機能の実装や、プロジェクト全体のCI/CD環境の構築も行いました。特にSMS送信機能は、設計から実装まで一貫して担当した点がアピールポイントです。可読性と拡張性を意識したコード設計を行いました。また、GitHub運用とCI/CDを整備し、それまで手動デプロイだった体制を自動化しました。この取り組みをきっかけに、他のコワークプロジェクトでも同様の運用が取り入れられるようになりました。モバイルアプリのビルドとストア公開対応には苦労しました。留意した点としては、特にiOSは証明書や審査対応など独自の手順が多く、調査と検証を重ねながら対応しました。ベストプラクティスに基づいた開発を重視し、その結果としてセキュリティ、パフォーマンス、UX、コードの可読性、拡張性といった要素にも自然と配慮した設計・実装を行いました。将来の保守や機能追加にも対応しやすい構成を心がけました。